

HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地 さわやか交流郷

5

No.459/2005

広報しべつ



主な記事

◆地震への備えは万全ですか？

◆全国大会で2年連続3度目の金賞
～標津高校吹奏楽部～

「楽しいよ。『にこにこ教室、』

育児の大切さと楽しさ、子供への関り方について遊びを通して学ぶ「にこにこ教室」が今年も4月20日から始まりました。

幼児をもつ家庭への支援を行う地域子育て支援事業の一環として実施しており、今年で7年目。教室では絵本の読み聞かせ(写真)や紙芝居、リズム遊びなど親子で楽しく遊べる内容になっています。日程は毎週水曜日の午前9時30分から11時まで。対象は1歳から5歳までの子供とその親。あなたも親子でお気軽に参加みてはいかがでしょうか。

また、この教室のほかに育児相談も行っています。育児でお悩みの方はご相談ください。申し込み・お問い合わせは、地域子育て支援センター(双葉保育園内・☎ 82-2404)まで。



地震への備えは万全ですか？

家庭内から防災対策を：

非常持出品の備えは：

- ▽貴重品
現金、預金通帳、印鑑、鍵
- ▽懐中電灯(同)
- ▽衣類
- ▽救急セット
セーター、防寒服、下着、毛布、手袋など
- ▽非常食
乾パン、缶詰、ビスケット、チョコレート、ミネラルウォーター

- ▽ターナーなど
- ▽その他
マツチ、ライター、防水ビニールシート、ナイフ、缶切りなど

※非常持出品の重さは、男性で十五キロ、女性で十キロ以下を目安にしましょう。

家具の落下、転倒防止策は：

- ▽テレビは高い所に置かない。
- ▽棚やタンスの上に重い物を置かない。
- ▽本棚やロッカーなどの収納物は、軽い物を上に、重い物を下に置く。

マグニチュード8.1の巨大地震がまちを直撃した北海道東方沖地震。

あの地震からすでに十年が経過しました。当時、地震発生後、しばらくの間、頻繁に余震が続きました。「また大きな地震が起きるのでは…」との警戒から、各家庭でも地震対策への関心が高まりました。

大丈夫と、あの恐怖の記憶が消えつつあるのではないのでしょうか。

「天は忘れたころにやってくる」。いつ起きるか予想できない地震への備え、速やかに対応できるように、家庭内での役割分担や避難場所の確認、非常持出品など今一度、防災対策について十分話し合っておきましょう。



過去の大きな地震（道内）

- ▼昭和27(1952)年 3月 4日 十勝沖 M8.2
- ▼平成5(1993)年 1月15日 釧路沖 M7.8
- ▼平成5(1993)年 7年12日 北海道南西沖 M7.8
- ▼平成6(1994)年10年 4日 北海道東方沖 M8.1
- ▼平成15(2003)年 9月26日 十勝沖 M8.0

※「M」はマグニチュード

- ▼避難する時、だれが何を持ち出すか、非常持出袋はどこに置くか。
- ▼昼と夜の場合の家族みんなの分担をはっきり決めておく。
- ▼「避難カード」を作成し、各自携帯しましょう

▽幼児やお年寄り、病人のいる部屋には、転倒の危険が



家具はできるだけ固定しましょう

▽家具は固定できるものは、L型金具や木ねじなどで固定する写真。

家庭での防災会議を…

- 大地震の時、家族があわてずに行動できるように、普段から次のようなことを話し合い、それぞれの分担を決めておきましょう。
- ▽家の中でどこが一番安全か。
- ▽救急医薬品や火気などの点検。
- ▽幼児やお年寄りの避難はだれが責任を持つか。
- ▽避難場所、避難路はどこにあるか。

ある背の高い家具などは置かない。

* * *

避難する際の心得…

- ①避難の前に火の始末。
- ②避難時の荷物は最小限に。
- ③留守家族には連絡メモを。
- ④避難は徒歩で(原則として)。
- ⑤お年寄りや子供としっかり手をつないで。
- ⑥避難場所までは、狭い道、塀ぎわ、川べりなどを避け移動を。
- ⑦必ず指定された避難場所へ。

(家族が離れ離れになった時に備えて、緊急時の連絡方法を)。

* * *

津波のときの避難場所を確認しましょう



地区	避難場所
標津	ベキシリ山
浜茶志骨	望ヶ丘森林公園
伊茶仁	タプ山
忠類	伊茶仁ふ化場
浜古多糠	忠類墓地
薫別	浜古多糠神社高台
崎無異	薫別川左岸高台
	崎無異神社

戸別受信機は聞こえますか？



各家庭に設置されている戸別受信機

戸別受信機は、災害時の住民への速やかな情報伝達などのために各家庭に設置しており、普段は行政広報として町からのお知らせなどを放送しています。

〈停電後の取り扱い〉

戸別受信機は、通常時「AC100V」を使用していますが、停電になると自動的に内蔵されている乾電池に切り替わります。

通電後は、電源スイッチ「入」を二回押すことでAC100Vに切り替わりますので、停電後は忘れずに電源スイッチを二回押してください。

なお、電源表示ランプが点滅している場合は、乾電池(単二電池四本)切れですので交換してください。

●防災に関するお問い合わせは、住民課まで。

また、「避難勧告」が出された時には、電気のコンセントをはずして持ち出すことにより、避難中、避難先においても常に情報がキャッチでき、適切な行動につながります。このため、戸別受信機の音が聞こえにくい、または故障している場合は、住民課までお問い合わせください。

標津高校吹奏楽部

全国大会で2年連続 3度目の金賞に輝く

第二十六回全日本リコーダーコンテスト(全日本リコーダー教育研究会主催)が三月二十七日、東京都で開かれ、標津高校吹奏楽部が合奏部門で見事金賞を、



重奏部門で銀賞を受賞しました。

同校の全国大会出場は四年連続。合奏部門での金賞受賞は、二年連続三度目。部員は荒真奈美さん(三年)学年は当時。以下同、古賀悠介くん(二年)、山根真実さん(同)、高橋唯さん(同)、糸納志織さん(一年)の五人。部長の荒さんは「金賞は目標だったのうれしい。本番では三年間の練習の成果をすべて出し切れたと思う。これからは後輩に託したい」と喜びをかみしめています。

顧問の柴田寿人教諭は「本番では満足できる演奏ができ、部員は本当によく頑張ってくれました。来年もぜひ全国大会で金賞を狙いたい。全国大会に向けて、町や町民の皆さんから温かいご支援をいただき感謝しています」と話しています。新入部員も加わり、来年の全国大会出場に向け練習に励んでいる標津高校吹奏楽部。多くの町民皆さんの手で、これからも応援していこうではありませんか。

国立大学法人千葉大学文学部と標津町による相互協力協定書の調印式が四月十五日、同大学で行われました。調印式には、本町から小田桐町長と城地教育長が、同大学は西村靖敬学部長らが出席。この調印は、同大

の向上②標津高校への教育支援活動③道東の自然環境・自然史研究への協力と支援④アイヌ文化・言語・民族の調査研究と継承など五項目で協力することとしています。調印により、標津高校で

国立千葉大と標津町 教育協定で調印

相互協力協定書調印式



文学部考古学研究室が昨年 から四年計画で開始した本町での遺跡発掘調査がきっかけ。道内の自治体が道外の大学と協定を結ぶのはあまり例がないと言います。協定では①標津町での考古学研究の推進と地域文化

の出前講座や同大学の発掘調査の成果を報告するほか、標津高校の生徒が同大学での夏・冬期のスクーリングに参加することなどが検討されており、標津高校の学力の向上にも大きな効果が期待されます。

行政相談委員に 今野さん



四月一日付けで今野千昭さん(57歳・北六西二)が行政相談委員に委嘱され、四月十三日、八木澤鋸路行

政評価分室長から委嘱状の交付を受けました。

同委員は、総務大臣が委嘱するもので、国の機関などへの苦情の申出についての助言や関係機関への通知を受け持ちます。

任期は平成十九年三月三十一日までの二年間。

なお、あわせて、今回退任した川畑二郎さん(80歳・北一西二)に感謝状と協力委員の委嘱状が手渡されました。

「愛の鈴」贈り

続けて二十三年…

「新入学児童の交通安全啓発に役立ててください」



と四月六日、町商工会女性部(神内朝子部長・会員七十三人)が町教育委員会を訪れ、「愛の鈴」五十九個を贈りました。

この取り組みは、昭和五十七年から続けて今年で二十三年目。この鈴は黄色の毛糸を使い、心を込めて編んだ手作り、町内の神社で交通安全祈願の厄払いも行っています。

同委員会では、この鈴を各小学校を通じ、新入学児童一人ひとりに配布しました。

乗馬に挑戦！子供たちは大喜び



標準ふるさと体験塾(武山栄道塾長)主催の乗馬体験が四月十六日、サーモンパークで開かれました。同塾での乗馬体験は初めての企画。保育園児から中学生までの子供二十七人とその父母十人が参加。地元などの馬事愛好会の協力を得て行われました。

参加者は三班に分かれ、乗馬②馬車への乗車③蹄鉄投げゲームを体験。用意された馬は、サラブレッドやドサンコ、ポニーの十五頭。馬事愛好会の代表者から馬の正しい乗り方の説明の後、子供たちは早速乗馬に挑戦しました。

また、子供たちは乗せてもらったお礼に、馬にニンジンを食べさせ、すっかり仲良くなり、馬との触れ合いを深めていました。



「馬ってかわいいね」。乗せてもらったお礼にニンジンを食べさせる子供たち

参加した佐々木強(幸くん(標準小六年))は、「最初は乗るまで怖かったけど、一度乗ったらすごく面白くて、何度でも乗りたくなった。馬はやさしくて、大好きになった。塾の人が作ってくれたお昼の豚汁もすごく美味しかった。次も参加したい」と笑顔で話していました。



神内朝子さん

(南4西2)

ASAKO JINNAI

二月二十三日、町生涯学習センター・あすばるの大ホールで開かれた「標津町『交流のまち』づくり推進フォーラム」で、約二百人の町民を前にステージに立ち、「忠類川」の歌を感情込めてしつとりと歌い上げた神内さん。

この「忠類川」は昨年十二月、中標津町在住の音楽家・牧野昭一さんが作詩・作曲し町に寄贈した歌。「地域の人々に愛されてほしい」と牧野さんの意向で、神内さんを歌い手として指名。CD制作



のため、今年二月に札幌のスタジオで初のレコーディングに挑み、三月にCDを制作しました。

「歌い手に指名されたのはうれしかったけど、『私で本当に大丈夫なのか。果たして自分の歌声で、この歌の良さを多くの皆さんに伝えられる

「忠類川の歌で町民の心を一つに」

のか」と不安でいっぱいでした。でも牧野先生から「素直に、素材に、素人らしく歌えばいいんだよ」とアドバイスをいただき、何とかCDを制作することができ、今は責任を果たしホッとしています」

CDを聴いた町民からは「心に『ジン』とくるね。聴けば聴くほど奥深い歌だね」と評判も上々。「忠類川」は心をやす歌。歌えば歌うほど、その良さが体に伝わってきます」と、しみじみと話す神内さん。

神内さんは町内でも有名な歌好きで、お祭りなどのステージには欠かせない存在。「自分では歌はうまいとは思っていませんが、とにかく歌が大好きなんです。今回のCD制作は大変だったけど、いい経験させてもらい感謝しています」

「自立」の道を選んだ標津町。町が大きくならなくてもみんな仲良く、元気なこの町でいつまでも暮らしていきたい。この『忠類川』の歌で、町民の心を一つにして、私たちの故郷をいつまでも守り続けたい」



今月の「逸品」推薦者
大垣 隆さん

(北1西4・31番)

サケちらしそば

<1,200円>

そば処 福住総本店

北1東1 ☎ 82-2305

合い、それでいてそばの風味を損ないません。

特にイクラのプチプチ感と、サケが織りなす標津の浜の香りが堪能できる私のイチ押し逸品です。

▽お店からひと言：サケの町の特徴を活かしたメニューを全面に押し出したそうとの思いから始めた「サケちらしそば」。国後島とサケ漁の光景を思い浮かべながら食べてほしいですね。観光客からも好評です。

そ

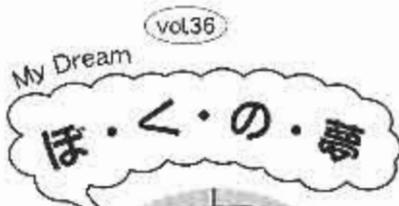
ら

▽大垣さんのイチ押しメニュー：
そばの白色の上にイクラの赤色、サケの桃色、卵の黄色、キュウリの緑色が鮮やかで食べるのがもったいないくらい。そばをすくうとイクラ・サケ・卵・キュウリがうまく絡み

僕

の将来の夢は漁師です。なぜかという、パパが漁師をやっているからです。漁師はかつこよくて、二年生ごろからの夢でした。そして、釣りや、魚を食べるのが好きだからです。特に魚のフライと魚の煙製が好きです。

僕が漁師になってやってみるに力を付けておくことです。そしてときどき友達といっしょに釣りに行って、漁のこつをつかんでおきたいです。あと漁師は頭がよくないとできないから、勉強がいつばいできて、頭のいい人になりたいです。そして船を運転するための試験に合格したいです。朝は早起きができるように今



まつざき たいき 松崎 太輝 さん
(薫別小6年)

「漁師になりたい」

たい事は大きい船に乗って網を引いたり作ったりする事です。そして大きくなってかつこいい船を仲間といっしょに買いたいです。自分の買った船に乗って、シイラとか大きい魚を毎日たくさん捕りたいです。

僕が漁師になりたいです。から練習したいです。僕が漁師になったら魚をいっばい捕って、みんなからすごいとか言ってもらえるようなすく腕のいい漁師になって、しっかり漁師の仕事ががんばってやりたいです。

●次号は、標津小学校の児童の「夢」を紹介します。

「乳質の良い乳牛を生産していきたい」

若さで
アタック

たに谷 晃 さん
(北標津・20歳)



趣味は、模型作りや犬の散歩。高校時代には「農校太鼓」で活躍。「とどわら太鼓」にも参加してぜひまちを盛り上げたいですね」

YOUNG MAN / WOMAN

農業に従事して間もないことばかり。これからは農協青年部のレクリエーションなどにも積極的に参加して仲間づくりをしていきたいです

ね」と話す谷さん。中標津農業高校、別海高校農業特別専攻科卒業後、今年四月から実家の農業に従事。高校三年の時にドイツ、スイスでの二週間の海外研修で先進国の農業を学習。「見習う点がたくさんあり勉強になりました。乳質の良い乳牛を生産できるよう頑張りたい」と意欲的。

達者な
じいちゃん
ばあちゃん

「毎日がとても楽しいんです」

Ji-chan
Ba-chan

かね 田 トヨ子 さん
(住吉町・83歳)



仲間がたくさんいるので、毎日がとても楽しいんですよ」と笑顔で話す金田さん。「ふだんは友人の家に遊び

「お蔭様で今はとても健康です。仲間と遊んだりしながら、今のままで元気に過ごしていけたらいいですね」

に出掛け、花札などで遊んでいます。出掛けるときは、健康のために、遠くてもいっしょ歩いていきます。また、老人クラブの活動にも積極的に顔を出し、各地区のお年寄りと交流を深めています。食事は三度きちんと食べ、好き嫌いはなく、月一回の健康診断でも悪いところは一切ないそう。

〈〈〈町民の範として〉〉〉

交通安全の実践誓う

「標津町職員交通安全集会」開く



「目に見える交通安全運動の取り組みを」と強く訴えた嶋田・中標津警察署長

講話では、「自分は

中 標津警察署管内で交通事故が多発する中、標津町職員全員を対象にした「町職員交通安全集会」が四月二十一日、役場・集会

室で開かれました。町職員百四十人が参加。小田桐町長から「町職員は町民に範を示す立場にある。初心に返り交通法令やマナーを遵守し、交通事故を二度と起こさないことを深く胸にとどめ住民の信頼を得られるようにしてほしい」と訓辞があった後、嶋田茂春中標津警察署長から講話がありました。



職員を代表して嶋田・中標津警察署長と小田桐町長に「交通安全宣言」を行う吉田出納室長(上)。集会に参加した140人の町職員(下)

交通事故に遭わない」ではなく、だれもが事故に遭う危険性がある。法令を守り、シートベルトの着用やデイライト(昼間点灯)の実施、「セフティーラリー」の参加など、目に見える交通安全運動に取り組んでほしい」と百四十人の職員を前に、交通安全を強く訴えました。

最後に職員を代表して吉田出納室長が交通事故撲滅のため、強い決意をもって「交通安全宣言」を行いました。

～町民の皆さんへ～

交通死亡事故多発!

緊急メッセージ

いま、改めて考えて…
命の大切さ

こ

れまで町民の皆さんとともに、交通安全運動に取り組んで参りましたが、残念なことに、三月に入り交通死亡事故が多発し、管内四町内で死者数が四人となり前年対比三人増という極めて憂慮すべき事態となりました。

交通事故は、小さな不注意が原因で大きな被害をもたらすため、皆さん一人ひとりが、交通ルールを守り、正しいマナーを実践することが、交通事故を防止するためには、何より大切です。

特に、運転者、同乗者の皆さんは…

▼スピードダウンに心がけ、ゆとりのある運転をする。
▼シートベルトを必ず締め、幼い子供にはチャイルドシート

を着用する。

▼デイライト(昼間点灯)を行う。

▼飲酒運転はしない。乗るなら飲むな。飲んだら乗るな。

●歩行者、自転車を利用される皆さんは…

▼道路を横断するときは、左右の安全を確認し、信号を必ず守る。

▼夜間に外出する際は、明るい色の服装や夜光反射材を着用する。

▼自転車で交差点を通過するとき、左右の安全確認をして、夜間は必ずライトを点灯する。このことを必ず実践してください。

交通事故は、決して他人事ではありません。どうか皆さん、家庭や地域、学校、そして職場などで、今一度交通安全について、命の大切さについて考えてください。これ以上交通事故の犠牲者が増えないよう、そして安全・安心な町を創るため、一人ひとりが安全な行動を実践するようお願いいたします。

平成十七年四月十三日

標 津 町 長 小田桐四郎

標津町交通安全協会 会長 朝倉 勝美

標津町交通安全協会 副会長 池田 勝彦

標津町交通安全推進員 佐々木 一則

中標津警察署長 嶋田 茂春

私の故郷「標津」



東京標津会会員の
方々が故郷「標津」へ
の想いを届けます。



▼今月は：
百々健次さん

【MEMO】埼玉県所沢市在住。70歳。昭和28年、当時の村立標津中学校の教員。現在は東京標津会事務局長。

昭和二十八年三月、今から五十三年前、春まだ

浅い残雪の標津駅に私は降り立った。教員不足であった当時、私は高校卒の助教員の一として村立標津中学校に採用されました。十八歳の春でした。

標津と私の関係はここから始まります。当時の標津中学校は全校生徒数百八十六名、三年生が二学級、一、二年生は各一学級の小さな学校でした。

私の免許状は国語でしたが一年生の国語と理科、二年生の英語、その他に若さを買われて全年の体育を担当。部活では当然のことのように野球部担当(前年度根室高校野球部のエースでした)ので、昭和二十八年三月から一年間の短い在職期間でしたが、野球を通じて多くの人々と知り合い、村を挙げての物心両面での応援をいただき、部員の頑張りで圧倒的な内容で中標津管内「優勝」を果たし、標中野球部の歴史に新しい一ページを加えることが出来ました。

「第二のふるさと標津町と私」

男子生徒は九十二名中三十名を越える人数を部員にし、その中の一人に山茶志骨からの通学で中二までの二年間、長期欠席のNo.1で笑顔すら見せることもなかったお客さん扱いの通称タケヤンこと(T・A君)も部員にし、以後

野球をやりたいたい一心で無欠席で通し、外野手の補欠となり登録選手にまでになりました。遠征試合にも参加。野球部の急速の進歩と共に教育的な目的も果たし得たと思えました。他の部員達と笑顔で話す彼に私はそれを見ました。

中学三年間を最後の一年に思い出を凝縮して晴れやかな笑顔のタケヤンに生まれ変わった姿が強烈な印象として忘れることが出来ません。あれから半世紀を経た平成の今も私と彼らの絆は強く変わることなく、青春の日の珠玉として輝き続けています。

風光明媚、忘れ得ぬ思い出の地、標津の町は第二のふるさととなって私の胸の中に生き続けております。

国民年金

もっと知ろうよ

国民年金のこと

■国民年金とは？
働く世代が出し合った保険料と税金を合わせて老齢の世代を経済的に援助する、世代間の支え合いの制度です。

■加入の種類

▽第一号被保険者(二十歳～六十歳未満)
自営業者、自由業者、農林漁業者、無職などの方とその配偶者及び学生

▽第二号被保険者

会社員や公務員などの厚生年金・各種共済組合の加入者。

▽第三号被保険者(二十歳～六十歳未満)

第二号被保険者に扶養されている配偶者(会社、事業所を通して届出が必要です)。

●結婚、就職、退職などで被保険者の種別が変更となる場合は届出が必要で

す。

◇

Q

どうして学生なのに国民年金に入るの？

A

卒業してから保険料を納め始めても、六〇歳になった時に満額の老齢基礎年金は受けられません。

また、万が一在学中にけがや病気で障害になっても障害基礎年金を受けられないということをおぼすためです。

社会保険事務所 相談開設日

●日時 5月17日(火)
18日(水)
17日/13時～17時
18日/9時～11時30分

●場所 中標津経済センター

交通・防災

町交通安全指導員に 遠藤さん



4月1日付けで、町交通安全指導員に遠藤日出夫さん（45歳・北4西3）が委嘱されました。

任期は、平成19年3月31日までの2年間。交通安全運動の推進に取り組んでいきます。

セルフ給油所での 注意事項

- 衣類に付いている静電気でガソリンの蒸気に着火することがあります。給油口のキャップを開ける前には必ず金属部分に触れて放電させましょう。
- エンジンを止めて給油しましょう。
- くわえたばこでの給油は大変危険ですので止めましょう。
- 容器にガソリンを入れることは禁止されています。

—標津消防署—

入林マナーを 守りましょう

山菜採り、魚釣りなどで森林に入林する時は、次の事項を守りましょう。

- 山火事の発生しやすい季節となりますので、焚き火やマッチ、たばこの吸い殻の投げ捨ては絶対に止めましょう。
- 高山植物を保護し、盗採は絶対に止めましょう。
- 林道は坂道やカーブが多く、砂利道です。スピードを出し過ぎないように安全運転を心がけましょう。



- 通行禁止など入林規制をしている林道は危険ですので、入林は絶対にやめましょう。
- 国有林に入林する際は、森林管理署または川北森林事務所に入林届を提出しましょう。
—根釧東部森林管理署・町・町森林組合—

5月の健康相談日程

●乳幼児相談

27日(金)

〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕

※午前の部～13ヵ月児 午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談

27日(金)

〔9時～10時／ひまわり〕

※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)まで。

町長の動静

(3月21日～4月20日)

【3月23日】

「交流のまち」づくりフォーラム

【3月25日】

道栽培漁業基金運営委員会、道栽培漁業振興公社理事会（札幌市）

【3月26日】

中川経済産業大臣他への要望懇談会（釧路市）

【3月27日】

町村外務大臣、小池北方担当大臣への要望懇談会（根室市）

【3月28日】

大菅小百合選手標津町後援会、消防団退職団員送別会

【4月8日】

道農業開発公社武田理事長来庁懇談

【4月13日】

行政相談委員退任者感謝状贈呈・新任委員委嘱状伝達立会い

【4月15日】

千葉大学との教育協定調印式（東京都）

【4月20日】

標津町議会総務産業常任委員会・文教福祉常任委員会

（以上主なもの）

人事異動

(平成17年4月1日付け)

■町人事

▷(兼)サーモン科学館長〈水産課長、(兼)商工観光課長〉川口真▷
(兼)総務課係長〈庁舎管理担当〉
〈同係長〈車両管理担当〉〉松下不二夫

■根室北部消防事務組合発令

▷標津消防署長〈同次長〉金田

良雄

※主査・主任以上を掲載しています。

※〈〉は前職

* * *

退職

◇浜向傑◇大山米勝◇佐藤健蔵

◇斉藤俊己◇佐藤トクエ

＝敬称略＝

町の融資制度をご利用ください

●生活資金…

当面の生活費に困っている方などに必要な資金を貸し付けします。
 ▷限度額…50万円
 ▷対象者…町内に住所を有しており、町税を完納している方。また、償還能力がある方

▷償還期間…3年以内（月割均等償還）

▷貸付利率…1.5%（平成17年4月1日現在）

※金利は3.2%ですが、道勤労者福祉資金と同率で利用できるように、町が1.7%を補助します。

★申込み・お問い合わせは、商工観光課まで。

●中小企業融資資金（標資金）…

中小企業者の経営安定・設備を充実するための資金です。

▷資金の種類…運転資金、設備資金

▷限度額…1,000万円

▷保証料…全額補助します。

▷利子補給…1.0%を補助します。

▷貸付利率

短期（5年以内のもの） 2.4%

長期（5年以上のもの） 3.1%

★お問い合わせは、町商工会（☎2-2333）まで。

●地場産品開発振興資金…

地場産品を生かした新製品の開発を目的とした資金を融資します。

▷限度額…300万円

▷融資期間…2年間

▷利子補給…全額補助

★申込み・お問い合わせは、商工観光課まで。

●地場産品開発振興奨励補助金…

地場産品を生かした新製品の開発・実用化に補助金を交付します。

▷限度額…10万円

▷補助率…1/2以内

★申込み・お問い合わせは、商工観光課まで。

スポーツ

☆5月のスポーツ☆

■1日(日)～4日(水)

札幌星園高校卓球教室

[9時～総合体育館]

■7日(土)

第33回赤銅争奪少年剣道大会

[9時～鳩ヶ丘体育館]

■11日～20日の毎週水・金曜日

ファミリー卓球教室

[19時～総合体育館]

■15日(日)

漁協組合長杯球場開き野球大会

[8時～町営球場]

■17日～31日の毎週火・木曜日

わんぱく塾

[15時～総合体育館]

■22日(日)

第11回五月杯ソフトバレーボール大会

[9時30分～総合体育館]

第28回春季町民卓球大会

[9時～川北体育館]

高松宮杯野球大会町内予選会

[8時～町営球場]

■25日(水)

ノルディックウォーキング教室

[10時～総合体育館]

し尿

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

6月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲み取り実施地域

標津市街、東浜町、住吉町、茶志骨全域、古多糠全域

■申込期限 5月25日(水)

★申込み・お問い合わせは、住民課（担当：小野瀬、吉田）まで。

5月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ 空きびん・ペット ボトル・トレー・ 新聞・雑誌	資源ごみ 容器包装(紙) 容器包装(プラ) 紙パック・緑ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	14日(土) 28日(土)	11日(水) 25日(水)	7日(土) 18日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	12日(木) 26日(木)	9日(月) 23日(月)	2日(月) 16日(月) 30日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘 町・桜木町・住吉町・東浜町	火・金	13日(金) 27日(金)	10日(火) 24日(火)	6日(金) 17日(火) 31日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

環境

まちをきれいにしましょう

標津市街と川北市街で、次のとおり「春の一斉清掃」を実施します。

公園や道路清掃、空き地など私たちが暮らすまちの環境美化を目的としていますので、皆さんの積極的な参加をお願いします。

■日時 5月8日(日)

※清掃時間や清掃方法については、

各町内会にご確認ください。

★お問い合わせは、各町内会まで。

郵便局

自賠責保険の加入 受付けしています

自賠責保険は、法律により全ての自動車（オートバイを含む）及び原動機付自転車を運転する場合に加入が義務付けられている保険です。

郵便局では、オートバイ（250CC以下）の自賠責保険の取り扱いがありますので、ご利用ください。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

みんなの森栄会

こども体操クラブ

会員募集中

■日時 月2回開催

・小さい子のクラス…午前10時～

・大きい子のクラス…午前11時5分～

■場所 鳩ヶ丘体育館

■対象 4歳～小学1年生まで

★お問い合わせ・申込先は—

会長・千田 (☎ 82-3425)

副会長・山口 (☎ 82-3232)

募集

調べてみよう 地球 温暖化と森林のこと

根釧東部森林管理署では、今年度1回目となる森林公開講座の参加者を募集しています。

■日時

5月14日(土) 午前8時30分～

■場所

パイロットフォレスト

(標茶町中茶安別)

■内容

新緑のパイロットフォレストを散策しながら、地球温暖化と森林の関係について森林インストラクター話を聞きます。

■対象 小学校中学年以上

■参加料

1,000円 (中学生以下500円)

■定員 40名

■申込締切 5月12日(木)

※年7回開催する予定です。

★申込み・お問い合わせは、同署(☎82-2202)まで。

試験

警察官を目指して みませんか

■受験日時 9月18日(日)

■受験資格

昭和50年4月2日～昭和63年4月1日生まれの方

■試験内容 (第1次)

・教養試験 (高校卒業程度)

・論(作)文試験

・適正検査

■試験地

釧路市、根室市、帯広市

■申込期間

7月12日～8月26日

★申込み・お問い合わせは、中標津警察署(☎0153-72-0110)まで。

戸籍の窓口から

(3月11日～4月10日届出分)

■ご結婚おめでとう

土谷 悠介さん・渡辺 理恵さん(桜木町)

所澤 正明さん・新酒 仁美さん(双葉町)

栗栖 道洋さん・遠藤 恵美さん(南川北)

上田 修平さん・奥村 麻美さん(共栄旭町)

■お誕生おめでとう

(保護者)

佐藤 楓樹ちゃん(新川上町) 俊治・由美

小野 莉央ちゃん(上古多) 寿美・照美

佐藤 拓人くん(新川上町) 隼・安代

佐々木 遼太郎くん(東浜町) 均・晶子

斉 清ちゃん(鳩ヶ丘町) 光雄・智草

■おくやみ申し上げます

松坂 孝義さん(新川上町) 71歳

笹木 利雄さん(共栄旭町) 80歳

下山 フサさん(弥栄町) 99歳

石田 敬一さん(桜木町) 74歳

工藤 松夫さん(北標津) 68歳

若杉 ふでさん(弥栄町) 97歳

館岡ミヨ子さん(共栄旭町) 79歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●緑の基金として町に—

・標津町森林組合

●町社会福祉協議会に—

・工藤 静子さん・聖友標津支所

・若杉 秀雄さん・大沼 静代さん

・館岡 正美さん

●はまなす苑に—

・下山 一夫さん・弓場 ハツさん

・福地 秋雄さん

・野澤 キミさん(羅白町)

●標津病院に—

・浜田 次臣さん(羅白町)

・磯谷 喜市さん(中標津町)

・佐藤 幸悦さん・石田 ケイさん

・若杉 良一さん・森井ツネ子さん

保健

受診しましょう 「春の総合検診」

■日時・場所

▷5月31日(火)

…川北生涯学習センター

▷6月1日(水)～3日(金)

…保健福祉センター「ひまわり」

※検診時間は、各会場とも午前6時から午前11時です。

■検診内容

生活習慣病、胃・肺・大腸がん、肝炎ウイルス、結核、エキノコックス症

■申込締切 5月17日(火)

※検診料金は、年齢により異なります。

★申込み・お問い合わせは、ひまわり(☎82-1515 担当：谷内)まで。

乳がん検診を実施します

■日時

▷マンモグラフィ検査

6月6日(月)～17日(金)のうち1日のみ
午後2時～

▷視触診

6月20日(月) 午後1時30分～

■場 所 町立中標津病院

■対象者 満40歳以上の女性

■検診料金

▷マンモグラフィ検査…2,520円

▷視触診…1,200円

■定 員 20人

■申込締切 5月20日(金)

※10月にも同様に実施します。

★申込み・お問い合わせは、ひまわり(☎82-1515 担当：谷内)まで。

助成

社会福祉活動に助成

町では、社会福祉基金の利子を利用して、次のとおり助成を行っています。

■助成対象者

社会福祉活動に取り組む民間のグループ・団体

■対象事業

次の事項に係る調査・研究・実践活動

- ・在宅福祉の普及向上
- ・健康・いきがいがづくりの普及向上
- ・ボランティア活動の振興
- ・地域福祉の向上・発展

■助成金額

助成対象経費の75%
(限度額50万円)

■申込締切 5月27日(金)

★申込み・お問い合わせは、福祉課(担当：上田)まで。

まちづくり・人づくりを 応援しています

根室支庁では、地域の特色を活かしたまちづくり活動や文化・産業の振興などを取組む団体などに対して「地域政策総合補助金」として補助金を交付しています。

■補助金額

10万円～300万円
(補助対象経費の2分の1以内)

■助成対象事業

上記団体などが実施する事業に係るイベントの開催、広報普及、人材育成、調査研究、計画策定などの取り組み

★お問い合わせは、根室支庁地域政策課(☎0153-24-5572)または役場企画振興課(☎2-2131 担当：阿部)まで。

税

5月の納税は固定資産税 (第1期)と軽自動車税

平成17年度の納税は今月から始まります。今月の納税は固定資産税(第1期)と軽自動車税です。

納税通知書は納税義務者に5月10日ごろにお届けしますので、納期内納税をよろしくお願ひします。

★お問い合わせは、税務課(担当：岡部、斉藤)まで。

5月31日は自動車税の 納期限です

自動車税は4月1日現在で陸運支局に登録されている自動車の名義人(使用者)に課税される税金です。納期限までに忘れずに納めましょう。

また、納められた際の納税証明書は車検を受けるために必要ですので、大切に保管しましょう。

「標津町長選挙」が行われます

告 示 平成17年5月24日(火)

投票日 平成17年 **5月29日(日)**

投票時間 午前7時～午後8時
※第1選挙区(標津)第9選挙区(川北)以外は午後6時までです。

期日前投票 平成17年5月25日(水)～平成17年5月28日(土)
午前8時30分～午後8時

—町選挙管理委員会(役場総務課内)—

「さわやかな挨拶」

四

月に入り陽気が感じてくるようになりました。時折歩いて出勤すると新入学を迎えた小学校一年生をはじめ地域の子供達に会います。「おはようございます」と元氣な挨拶が聞こえてきます。私自身はこのお子さんかわかりませんが、さわやかで澄んだ声が妙に心を和ませてくれます。私もすかさず「おはよう」と挨拶を返します。

子供達の歩く後ろ姿を眺めていると友達同士会話をしながら楽しそうにしています。また人に会うと「おはようございます」と聞こえてきます。まるで「おはよう」の輪唱を聴いているようです。近年、日本の経済も高度成長を成し遂げ、携帯電話・パソコンなどのメール普及も著しく、更に子供の遊びといえばテレビゲームが主流という中で、家庭でもそうですが、

一般社会でも子供達との会話が減少しているのも事実だと思います。

そんな世相を反映して、少年犯罪の増加、若年化が社会問題として取り上げられています。

先日、自分の子供が友達に用事があつて電話することを躊躇しているのので、「電話をすれば」というと「電話するの苦手なんだよネ」といいました。「どうして」と聞くと

「電話すると友達のお父さんやお母さんがでるから」という感じで、「友達が必ずでるといふのならかけてもいいが」

「一みたいなニユアンスで躊躇しているようでした。自分の子供もメールをしますがまさに、今日の世相をものにかぶっているようで親として反省をさせられました。

朝出勤する時に会う子供達のように、いつも元氣で明るく挨拶する地域社会がなんて素晴らしいことだと感じ、新しい「春」を満喫しています。

次の「まちの声」は上田修平さん(川北共栄旭町)です。

山口 靖浩さん Yasuhiro Yamaguchi
川北寿町(川北郵便局勤務)



☆標津町民憲章☆

(昭和46年11月3日制定)

- ◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- ◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- ◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
- ◇心を豊かにし文化を高めましょう。
- ◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽今月から新コーナーを企画。一つは「私が選んだお店のイチ押し」(逸品)掲載目的は、現在町が進めている「郷土再生に向けた自立プラン」への取り組みの実践事業の一つである地元購買の推進。皆さんからの「イチ押し」逸品を募集しています。あなたもぜひ誌面に登場してみませんか。▽もう一つは、東京標津会員の皆さんによる「私の故郷「標津」」。きつと当時を懐かしく読まれる方もいるのでは。▽最近「表紙、白黒になっただね。さびしいね」とよく言われます。その分、内容でカバーするよう努力します。広報誌へのご意見をお待ちしています。

▽交通事故多発する中四月二十一日、町職員を対象として「職員交通安全集会」を実施しました。小田町町長の訓示にもありましたが「車は公私ともに欠かすことの出でできないものであるが、ともすれば走る凶器にもなる」と。▽今月号が皆さんの家庭に届く頃には「ゴールデンウィーク」もすでに始まっていると思いますが、車を利用して、近くはもとより、特に遠出などをされる方は気を付けていただきたいと思います。▽悲惨な交通事故をなくしましょう。(A)

6月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。
 ■日 時 6月7日(水)13時30分～
 ■場 所 川北生涯学習センター
 ★お問い合わせは、住民課まで。

町内の交通事故

- ・人身事故 1件 (4)
- ・負傷者 2人 (6)
- ・死亡者 1人 (1)
- ・物損事故 19件 (45)

◇平成17年3月1日～3月31日まで
 ()は累計

人のうごき

- ・人口 6,137人 (-89)
- ・男 2,995人 (-40)
- ・女 3,142人 (-49)
- ・世帯数 2,346世帯 (-33)

◇平成17年4月1日現在
 ()は前月比